

## 運転でできるボランティア始めてみませんか? ～福祉有償運送運転協力者研修のご案内～

福祉有償運送とは、特定非営利活動法人(NPO)や社会福祉法人などが、高齢や障害などの理由で公共交通機関の利用が難しい方を対象に行う非営利の送迎サービスです。

北九州市内では9団体が活躍中です。これらの団体で運転ボランティアとして活動するには、この福祉有償運送運転協力者研修(福祉車両)を受講するか、二種免許が必要です。

年に3回研修を行っています。ぜひ、あなたの力を貸していただけないでしょうか?  
各団体では運転協力者を募集中です。詳細は研修時ご案内します。

研修のご案内	
10月22日(土)	福祉車両 (研修必須) 9:15～18:25 (会場クレカ若松)
10月29日(土)	セダン型(必要に応じて) 9:15～11:45 (会場ウェルとばた)
※問い合わせ先 ☎881-6321 (2月にも開催予定)	



### 9団体一覧

- ① 特定非営利活動法人 陽気
- ② 特定非営利活動法人 好楽会
- ③ 社会福祉法人 まどか
- ④ 特定非営利活動法人 通院介護センター さわやか
- ⑤ 特定非営利活動法人 北九州あいの会
- ⑥ 特定非営利活動法人 北九州ひだまりの会
- ⑦ 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
- ⑧ 特定非営利活動法人 にこり
- ⑨ NPO法人 ハッピービー

## 北九州市社会福祉協議会の福祉有償運送

### 「シルバーひまわりサービス事業」送迎ボランティア募集

北九州市社協では、福祉有償運送として、ボランティアさんが外出の難しい高齢者を福祉車両で送迎を行う「シルバーひまわりサービス事業」を実施しています。

この事業にボランティア登録され、福祉有償運送運転協力者研修受講後、運転ボランティアとしてご活躍されている齋藤隆さんにお話を伺いました。



▲齋藤隆さん

#### Q. 活動をはじめたきっかけは?

A. ボランティア活動に理解のある会社に勤務していたので、特技がなくても社会に貢献できる活動を市ボランティア・市民活動センターに尋ねたところ、運転を生かせるボランティアがあると紹介されたので。

#### Q. 活動して良かった等やりがいを感じる時は?

A. 自分で公共交通機関を利用しての外出が困難な高齢の利用者さんの「積極的に関わりたい」という思いに触れた時でしょうか。心からの「ありがとう」という言葉かけで実感しています。

#### Q. これから活動を考えている方へメッセージをいただけますか?

A. ご自分のやりたいことにマッチした活動の場は必ずあると思うので、まずは構えず、気楽にボランティア・市民活動センターに相談を。

北九州市社協では、運転(研修要)と同乗(研修不要)のボランティアを随時募集しています。お気軽にお問合せ下さい。

活動時間 月～土曜日  
9:00～12:00、13:00～17:00

お問合せ ボランティア・市民活動センター ☎881-0110  
(事業の詳細については、<https://www.kitaq-shakyo.or.jp/index.php?id=839>)



## シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」⑧

### 子どもに寄り添い 子どもの声を聴く

チャイルドライン北九州 理事長  
北九州市立大学 名誉教授

河嶋 静代 さん



#### 子どもたちの心の居場所「チャイルドライン」

コロナ禍で、生活環境が変化し、心を病んだり、死にたいと思う子どもたちが増えています。今、そうした子どもの心に寄り添う子どもの福祉の活動が求められています。

私が関わるボランティア活動では子どもの「心の居場所」になることをモットーに電話やチャットで子どもの声を聴く活動をしています。チャイルドライン(以下CLと称す)という活動で、子どもの権利条約の理念にのっとり活動しています。

#### 子どものSOSをどうキャッチしていくか

CLは様々な子どもの声が集まる「宝庫」です。そこでは可視化していない潜在化した子どもの状況がリアルに垣間見られます。いじめ、性非行、児童虐待、自殺など、事件になり報道で取り上げられるような出来事も、子どもにとっては普通の生活と隣り合わせにあって、電話の中で日常的に語られています。子ども

たちは、電話では家庭や地域、学校で見せないような別の顔も見せています。そのことから、地域や学校・家庭など普通の生活の中で、いかに子どものSOSを敏感にキャッチできる大人たちの存在があるのか、そのセンサーのあり方が問われているように思います。

#### 子どもに寄り添い子どもの声を聴くボランティア、やってみませんか?

CLにかけてくる子どもたちは、周りに大人はいるのだけれど、悩みを話す人がいないという、心理的な孤立・孤独の状態に置かれています。また、小さい頃から、養育者に目をかけ心をかけて育ててもらいつつ喜怒哀楽を共にし対話をするという過程が希薄だったためか、「話すのが苦手な子ども」たちも目立っています。

CLでは、子どもに寄り添い、子どもの視点に立って子どもの声を聴くことで、子どもがほっと安心できるような支援を目指しています。皆さん、よかつたら、CLのボランティアをやってみませんか?

## 子育て支援活動紹介 ～NPO法人チャイルドライン北九州～

チャイルドライン北九州は、北九州市を拠点に子どもの専用電話を運営する民間の団体です。研修を受けたボランティアさんが、18歳までの子どもと電話で関わり、気持ちを聴いていきます。昨年、本校の子育て支援ボランティア養成講座で活動をご紹介いただき、受講者の受講後のボランティア活動につながりました。

子どもに寄り添い子どもの声を聴くことで子どもがほっと安心できる支援を目指し、毎日午後4時から9時までフリーダイヤルを常設しています。子どもが気軽に相談できるようオンライン・チャットも月1回開催しています。今日はチャット相談会場に向かうボランティア大橋 美登里さん、林 由美子さんのお二人にお話を伺ってみました。



#### Q. 会場はどんな雰囲気ですか?

A. ひとり一台ずつパソコンを通じて子どもと話をするので、画面を見ながらそれぞれのやり取りのタイミングで笑みがこぼれています。

#### Q. 初めて電話を受けたときはどうでしたか?

A. どう受け答えするかドキドキしましたが、かけている子どもはもっとドキドキしているだろうと思いました。今は緊張せずに子どものペースでゆっくり聴けます。

#### Q. これから活動を考えている方へメッセージをいただけますか?

A. 活動を通じて今までにない出会いや刺激、生きがいがあります。事前研修も充実しています。あなたもチャイルドラインに参加してみませんか。

問い合わせ先 ☎090-7924-5036

☐yoake64m@kiu.biglobe.ne.jp NPO法人チャイルドライン北九州事務局長 大橋まで